

フレンズ通信

Friend News No.21



新人看護職員研修の様子



膀胱留置カテーテルの挿入・管理・抜去

新人研修も、12月ですべてのプログラムが終了しました！それぞれの学びを糧に、今後の活躍を期待しています！



フィジカルアセスメントⅡ



他部門研修

新人の皆さん、お疲れ様でした😊

お知らせ

令和4年度 新人看護職員対象
スキルアップトレーニング

期間 令和5年2月14日～3月14日

場所 保健医療学研究棟2階
ナースینگコミュニケーションラボ

内容 経管栄養法、摘便、吸引
気管挿管の準備・介助 他

申込み はこちら

達成表の評価時期に合わせてスキルアップトレーニングを開催します！この機会に苦手な看護技術をマスターしよう！詳細はポスターをご覧ください！

フレンズインタビュー ラッキーライラック

今回のラッキーライラックは、**南6階病棟 指導主任助産師 菅原由樹子さん**です！菅原さんは、2016年にアドバンス助産師を取得。自律して助産ケアを提供できる助産師として活躍中！



アドバンス助産師とは？

助産師の助産実践能力が一定の水準に達していることを評価し認証する仕組みで、2015年にスタートしました。5年ごとの更新制で認証取得後も知識や技術のアップデートが必要です。

★ 助産師を目指したきっかけは何ですか？

もともと子供と関わる仕事をしたかったので、小児科の看護師ができればいいなと漠然とした思いを持っていました。でもいざ就職先を決めるときにすぐに社会に出る自信がなく、そのまま就職することに不安を抱いていました。赤ちゃんが好きで助産師の資格があれば何か役に立つかなという思いで助産学専攻に進むことになりました。

今思い返せば、当時は助産師という職業についてあまり理解していなかったのだと思います。いろいろな方との出会いもあり、小児科やNICUを経ながらゆっくりと助産師を志すことになりました。

★ 助産師として大切にしていることは何ですか？

当院の産科周産期科は地域周産期母子医療センターとして、高度な医療を必要とするハイリスクの妊産婦さんや新生児のケアを行うことが多くなります。どうしても医療の管理の下での出産が多くなりますが、お母さんや赤ちゃんの産む・産まれるという自然な力が最大限に発揮できるように関わりたいと思っています。

チームの一員としての自分の役割を考えながら日々ケアを行っています。もちろん全てが幸せに満ちた分娩ではありませんが、医大で産んで良かったと少しでも笑顔になってもらえるように心掛けています。

健康な妊婦さんの正常分娩も歓迎しておりますので、職員の皆さんが出産病院を選択するときに、候補の一つとして気軽に選択いただくと嬉しく思います。

★ アドバンス助産師としての抱負や、これから目指す方へのアドバイスをお願いします！

アドバンス助産師は、助産ケアの安全性や質を高められるだけでなく、社会的な信用度やイメージを向上させてくれます。チームからの信頼を得るための一つの指標になってくれるのではないかと思います。

自律した助産ケアを提供できる実践能力を持ち続けられるようにブラッシュアップを行ってキャリアを重ねていきたいと思っています。

今年度から当科のアドバンス助産師は7名に増え非常に心強く思っています。一緒に学んで社会に普及し多くの方に知ってもらえるようになりたいですね。



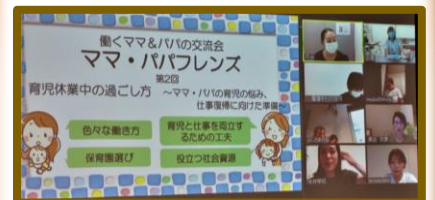
南6階病棟のスタッフと一緒にパチリ☆

センター事業の一コマ

在宅療養支援事例検討会 終了！

今年度は8月と11月に開催しました。グループワークでは活発な意見交換があり、講師によるミニ講義もあり、実践に役立つ有意義な研修となりました。事例報告とミニ講義については、**ナースングスキルにもUP**★していますので、是非活用して下さい！

ママ・パパフレンズ3回目延期に



9月の第2回目では、参加者も多く、ゲストトークも交えながら、復職に向けてのアドバイスなどとても役立つ内容となりました。12月の第3回目は残念ながら延期となりましたが、またお知らせしますので、お待ちください！

令和4年度 全看護職員対象研修

在宅療養支援事例検討会

- 第1回 高齢者の在宅環境調整のプロセス
●事例提供 退院支援係 小野 聡子 副センター長
- 第2回 在宅で点滴を要する患者の支援プロセス
●事例提供 退院支援係 奥山 亜由子 指導主任看護師

札幌医科大学附属病院 看護キャリア支援センター

Mail career@sapmed.ac.jp
URL <http://web.sapmed.ac.jp/career/>

TEL 011-611-2111
内線：23190

